

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD. パートン



2013-2014年度 会長 鷲塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30
例会場/ウエスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

2014 April 23

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”

Return to basics Advance with intelligence

NO.38

例会報告

●第2034回例会 平成26年4月23日(水) 晴

●4月は雑誌月間

●ロータリーソング 四つのテスト

●出席報告 会員 106名中 出席72名
(99)

出席率72.73% 修正出席率85.39%
(4月9日分)

●ゲスト紹介

・ゲストスピーカー

表千家茶道家 宮崎 雅史氏

・加藤重和君ゲスト 増田 恭子氏

●ニコボックス

「卓話お返し」 宮崎雅史氏
「卓話に宮崎氏をお迎えした喜び！」 加藤寿彦君
「明日からカンボジアに出発し、簡易水道の引渡し式典に和合ロータリー皆さんの代表として出席してきます。元気で行ってきます。」

服部 滋幹事、福田哲三君、関 貴之君
小松佳史君、坂倉弘康君

「当社東京支社ビル地下1Fの私の行きつけの寿司屋 すきやばし次郎に本日オバマ大統領が安倍総理と夕食に来店される事で当社の東京支社も 심각한体勢で大変な状態です。」 谷 喜久郎君
「本日の私のゲスト、増田さんを、よろしくお願ひ致します。」 加藤重和君

「大変欠席が続きました。」 宮下幸二郎君
本日のニコボックス 6件 45,000円
累 計 193件 2,026,000円

服部 滋幹事報告

▽当クラブ行事予定

・4月23日(水) 本日例会終了後、理事会を行います。

- ・4月30日(水) 規定休日のため休会です。
- ・5月7日(水) 例会終了後、次年度クラブアッセンブリーを行います。理事、役員、次年度の委員長の方の出席をお願い致します。
- ・5月17日(土) 5月21日(水)を例会変更致しまして、春の家族会。劇団四季のミュージカル、「美女と野獣」を鑑賞します。集合 12時30分 新名古屋ミュージカル劇場エントランス。開演 13時~15時50分(休憩あり)。例会受付 17時30分~(予定) ウエスティンナゴヤキャッスル。

※5月21日(水)が例会変更となるため、5月21日(水)のお昼の例会はございません。お返事の無い方は、事務局にご提出ください。

鷲塚貞長会長挨拶

“白猫のクローンが黒猫????”

受精卵が子宮に着床すると、核は1が2、2が4、4が8と倍々に分裂を開始し、64に分裂するまでは、その各々が1つの固体になる可能性を持っており、それを全能性といいます。

その後の核分裂では、体の一部になって行き、1つの固体には成れません。

ということは、理論的には64分裂した受精卵の核をうまく分割すれば、64の同じ固体ができることになり、牛などで実用に向けた研究が進んでいますが、いまのところ、せいぜい2頭くらいまでです。

1996年7月に誕生したクローン羊「ドリー」で、世界が注目したクローン技術は、体の一部にまで分裂し、完全に全能性を失い体の一部となった細胞を、再び全能性のある段階にまで戻す技術の確立に始まります。

羊の平均寿命は15年程ですが、ドリーは6歳半

程で死んでしまいました。なぜでしょう。

細胞の分裂の回数は生まれた時すでに決まっており、ドリーは6歳の羊の乳腺細胞から取り出した核を、277個の羊の卵子に移植し、たった1頭だけ生まれたクローン羊です。

ということは、ドリーは生まれたときすでに6歳だったのです。

ドリーより10年、その間に誕生したクローン動物は、年代順にはマウス、牛、豚、猫、犬ですが、成功率は大変低く、医療目的では基礎技術さえ確かなものはありません。

クローン動物を作り出すには、今の技術水準ではさらに大きな問題があります。

それは1匹のクローンを作り出すのに、ドリーの誕生に277個もが使われたように、沢山の卵子が必要なのです。

豚や牛などの食用動物では、屠場から多数の卵子の入手が可能でしょうが、伴侶動物ではそうは行きません。

もっとも今日でも犬や猫を食用にしている国では入手可能で、犬のクローンが誕生したのは、そのようなけしからん国です。さらに致命的な問題があります。

猫の毛の遺伝子は100以上もあり、どの毛色の遺伝子にスイッチが入るかは予測できないのです。愛する動物を失った飼い主を対象に、大儲けを企んだ業者が行き詰まっています。法外な値段で白猫のクローンを企んでも、白猫の生まれる確立はきわめて低く、黒猫やまだらの猫が生まれてしまうからです。

飼い主に先立ち黄泉の国に旅立った愛すべき動物たちのことは、美しい思い出として胸に刻み、またいい意味で部分的には忘れてあげるのも深い愛情かもしれません。

卓 話

市井の蔭と茶の道



表千家茶道家 宮崎 雅史
プロフィール

- ①東海高校より早稲田大学第一商学部卒業（昭和36年）
- ②日本陶器（現ノリタケカンパニー）入社（東京支社 次長）
- ③家業継承の為退社（昭和61年）在職中より家業補佐であったが表千家茶道家元へ正式入門。

・先代死去に伴い、茶道表千家 哲叟庵（てっそうあん）及び華道東山公正流家元を継承現在に至る

（5代目）。

・その他活動（退任も含む）

中部シンガポール協会創設（現在名誉会長）

（財）日本シンガポール協会理事・参与（東京）

大学非常勤講師（南山大学・金城学院大学・東海学園大学 日本文化講座担当）

名古屋家庭裁判所調停委員

中国焙烤食品糖製品工業協会客員顧問

昭和美術館、桑山美術館理事

表千家同門会所属

●第10回理事会（平成26年4月23日（水）例会終了後 ウェスティンナゴヤキャッスル）

・新入会員推薦の件

足立吉正（あだち よしまさ）氏

夏目 稔君、田中知克君紹介

・上記に伴う職業分類オープンの件

グループ「機械工業」 分類「娯楽機器製造」

・クラブ細則の件

・カンボジアの報告

・その他

●5月度誕生日祝福

会 員	ご夫人
増田 靖憲 君(5月2日)	佐藤 公俊 夫人(5月5日)
黒田 史郎 君(5月2日)	上村 晋也 夫人(5月5日)
千住 憲夫 君(5月3日)	高木 一平 夫人(5月11日)
石原 敏夫 君(5月19日)	住野 新 夫人(5月13日)
松原 忠久 君(5月20日)	山田 明紀 夫人(5月14日)
稲川 久 君(5月24日)	棚橋 秀行 夫人(5月18日)
國分 孝雄 君(5月25日)	柏木 順壺 夫人(5月20日)
マスクリ・ニート 君(5月25日)	増田 靖憲 夫人(5月23日)
吉田 正道 君(5月29日)	マスクリ・ニート 夫人(5月31日)
住野 新 君(5月31日)	

例会	月日	今後の予定
第2035回	5.7	名古屋外語大学学長 亀山郁夫氏 「ドストエフスキー研究と教育」
第2036回	5.14	会員 福田哲三国際奉仕委員長 「カンボジア水事業支援プロジェクト」
第2037回	5.17 (土)	春の家族会のため 新名古屋ミュージカル劇場 12:30~集合 開演13:00~ 15:50(休憩あり) 例会受付17:30(予定)~ ウェスティンナゴヤキャッスル 5/21(水)を例会変更
第2038回	5.28	新入会員自己紹介

○このウィクリーは再生紙を使用しております。

卓 話

市井の陰と茶の道

表千家茶道家 宮 崎 雅 史

茶は、長生きできる舶来の薬、「長命の妙薬」

そして「茶の道」を行じる茶席には人生の寄る辺・仏の道があった。

- ◆この茶席は喧噪な欲が渦巻く街のその陰に“市井の陰”があります。

この“隠”は“老舗”邸宅の奥に隠然と位置し、其処は家訓社訓の継承の場であり「家訓社訓」の守護人“御隠居の仕事場”であった。

- ◆オバマ大統領が到着された。

大統領が就任宣誓された時バイブルが左手にある。

アメリカには何時でも何処にでもすぐ側に教会、そして「バイブル」がある。左手にバイブル、それがアメリカの260年の歴史のエネルギーの源であろう。何でも自由々々とはいえず大統領の左右の手はその両極端をヤジロベーの様にバランスをとり「天を恐れて則こえぬ」、程がある文化国家の姿である。

- ◆「市井の陰」の茶席にも茶の道という仏の道（バイブル）が、そして隠居さんが牧師の様に其処に居て“ほど”を語って居た。

幸せは「貪る」という陽（+）のエネルギーと、「仏様に触る」と言う陰（-）のエネルギーの綱引きの間に「永く輝くもの」である。

- ◆一昨年の徳川美術館で《豪商のたしなみ》展という名古屋の老舗の文化展があった。400年を越える表の商の道、裏ではそれを支える市井の隠を語る茶道具の展示であった。

社訓の「外を飾らず、心を磨くべし／分限を知り贅を慎むべし」の心を形とした茶道具と共に茶の道を歩き永続して来た老舗、岡谷家の《表の力》に対しその根の深さが具現化されており感銘した。

江戸、明治、昭和と400年を越えて生きて来た名門豪商の市井の隠、即ち茶席という4畳半にも満たない小部屋が交流拠点として、歴史に名を止める大豪商益田鈍翁を初めとする東西の大々豪商、勿論名古屋の伊藤次郎左衛門のみならず殿様までが集い、情報と商機が飛び交ったであろう俗世の一大経済団体のネットワークでもあっただろうと思う。

仏の前で日本の国の富の殆どを一手にしたあらゆる分野を統べる人々が同じ道を共に歩いた社会性の大きさを語るものでもある。

- ◆（文を左にし武を右にする）は徳川政権の法度。

その法度と相俟ったかのように、茶の道の家風（茶道）は絶対保守、「古風に従い新法を用ちうるべからず新法をあい立て候はば家滅亡の基に候、平生相慎み申すべき候」と地味に、慎みふかいことが幸せに通じる道と教えた。

茶と家訓との遠源は500年も前の大豪商、利休さんの一派が戦国の混沌とした世に見つけ「お家の芯」として生き抜いてきたその商人達の魂の流れかもしれない。

その保守の生き方がサムライをも引き付け豪商を引き付け仏という宗教的価値感の共有は“市井の隠”での商とサムライの階級を越えた交流と絆を強めた。社会体制の中にまで組み込まれていった茶の湯の宗教的な面、道徳的な面、芸術的な面と総合文化を語る場所に宗教もあり商も政治もある文化的深い広いエネルギーの拡がりに続いていった所以だとも考えている。

- ◆今の俗世は《祖先は討ち死に息子は高枕》の享楽主義でホドを忘れ暴走している恐ろしさ。それは社会から政教分離政策の基で神も仏も“隠居の働き場”も放擲した日本の混沌とした俗世の姿である。

- ◆洋の東西、何処にも市井の片隅には教会がありそれぞれの宗教がある。外の利益追求活動と内なる“こころの活動”と恰もヤジロベー活動の様にバランスを正しくとって半聖半俗に生きてきた。

日本は芯なしの経済大国で国民は愚民に落ちる。

アメリカにはキリスト教という国教がる。